

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）の進捗について

報告内容

港区スポーツ推進計画（令和3年度～令和8年度）に掲載している事業の進捗状況（令和4年度末時点）を報告します。

1 スポーツ推進計画に掲載している事業数

82事業

※事業名等の詳細は別紙1のとおり

2 各事業の進捗

進捗管理票（別紙2及び参考資料）のとおり

(1) 年次計画・成果指標を記載している事業（別紙2）

取組の年次計画及び成果指標を掲載している事業について、令和4年度末における進捗を記載しています。

なお、事業の取組や成果の進捗は以下の区分で示しています。

a：予定どおり前期3年の指標値に到達する見込みである。
b：予定より成果が上がらず、指標値の達成に向け改善が必要である。
c：前期3年の指標値に到達する可能性がない。
-：指標値を把握できない。

《進捗状況別事業数一覧》

進捗状況	a	b	c	-	計
事業数	2	1	0	0	3

(2) その他の事業（参考資料）

年次計画・成果指標を記載していない事業（別紙2以外の事業）について、令和4年度末における進捗を記載しています。

スポーツ推進計画掲載事業一覧

基本目標1 誰もが気軽に楽しみ継続できるスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)スポーツ活動に親しむきっかけづくり	-	①地域スポーツ教室の開催	51	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-1
	-	②みなと区民スポーツ・体育祭の開催	51	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-1
	重点	③MINATO シティハーフマラソンの開催	51	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-1
(2)子どものスポーツ活動の促進	-	①子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	52	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-1
	-	②幼児の体力増進の取組	52	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-1
	-	③子どものスポーツ大会の支援	52	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-2
	-	④「放課GO→」「放課GO→クラブ」での体力向上の取組	52	各総合支所管理課/ 子ども若者支援課/ 生涯学習スポーツ振興課	参考資料-2
	-	⑤児童館・子ども中高生プラザでの体力向上の取組	52	各総合支所管理課/ 子ども若者支援課	参考資料-2
	-	⑥小学校における連合運動会等の開催	53	教育指導担当	参考資料-2
	-	⑦中学校における体育大会等の開催	53	教育指導担当	参考資料-2
	-	⑧特別支援学級合同運動会の開催	53	教育指導担当	参考資料-2
(3)子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の促進	-	①スポーツセンター等での夜間の教室開催	54	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-3
	-	②子育て世代のスポーツ活動への参加促進	54	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-3
	-	③働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	54	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-3
	新規	④働き盛り世代への運動プログラムの周知	54	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	参考資料-3
(4)高齢者のスポーツ活動の促進	-	①高齢者向けスポーツ教室の実施	55	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-3
	-	②さわやか体育祭の開催	55	各総合支所管理課/ 高齢者支援課	参考資料-3
	-	③いきいきプラザ各種教室及び講座の開催	55	各総合支所管理課/ 高齢者支援課	参考資料-4
(5)スポーツ観戦の機会の創出	重点	①スポーツ大会・試合・催し物の誘致	56	生涯学習スポーツ振興課	別紙2-1
	-	②スポーツ大会等の情報発信	56	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-4
(6)競技スポーツへの参加支援	-	①区民大会等の開催	57	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-4
	-	②定期練習会の開催	57	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-4
	-	③個人公開指導の実施	57	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-4
	重点	④トップアスリート及びチームとの交流	57	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-5

基本目標2 スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)スポーツボランティアの育成と活用	重点	①スポーツボランティア活動の普及と定着	58	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-5
	-	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	58	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-5
(2)スポーツ指導者の確保と活用	-	①部活動指導員の活用	58	教育指導担当	参考資料-5
	-	②武道における外部指導員の活用	58	教育指導担当	参考資料-5
(3)地域スポーツ団体等の支援と充実	重点 新規	①総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)と多様な主体との連携	59	生涯学習スポーツ振興課	別紙2-1
	-	②総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)の活性化	59	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-6
	-	③社会体育団体等への支援	60	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-6
	-	④スポーツ推進委員の活動支援	60	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-6
(4)スポーツ活動を支える団体等との連携	-	①スポーツ推進委員との連携	61	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-6
	-	②(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	61	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-6
	-	③(一財)港区体育協会との連携	61	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-6
	-	④競技団体との連携	61	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-7

基本目標3 スポーツを楽しむ場の確保と利用促進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実	重点	①区立のスポーツ施設等の環境整備	62	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-7
	-	②児童遊園の充実	62	土木課	参考資料-7
	-	③校庭の整備等、学校における運動環境の充実	62	学務課/学校施設担当	参考資料-7
(2)学校施設の活用の推進	-	①校庭及び体育館等の開放	63	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-7
	-	②学校屋内プールの開放	63	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-7
	-	③遊び場開放事業の実施	63	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-7
	-	④園庭等の開放	63	学務課	参考資料-8
(3)既存施設の有効活用と大学等のスポーツ施設の活用の推進	-	①大学等のスポーツ施設等の活用	64	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-8
	-	②区外における運動施設の活用	64	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-8
	-	③プレーパークの推進	64	各総合支所まちづくり課/土木課	参考資料-8

基本目標4 障害者スポーツの環境づくりと理解の促進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)障害者のスポーツ活動の推進	-	①障害者のスポーツ教室の開催	65	障害者福祉課	参考資料-8
	-	②いちょう学級の実施	65	障害者福祉課	参考資料-8
	-	③スポーツ指導員の配置	65	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-8
(2)障害者スポーツへの理解促進と普及・啓発	-	①障害者スポーツの理解の推進	65	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9
	-	②障害者スポーツの普及・啓発	65	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9
(3)障害者スポーツを通じた交流の推進	重点	①障害者スポーツの観戦・体験機会の創出	66	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9
	-	②障害者スポーツの集いの充実	66	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9
	-	③障害者スポーツ環境の充実	66	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9

基本目標5 港区の特性や資源を生かしたスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)港区の特性を生かしたスポーツツーリズムの推進	-	①観光資源を活用したスポーツ活動の実施	67	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9
	-	②立地特性を生かした催し物の実施	67	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-9
	重点	③スポーツ大会・試合・催し物の誘致[再掲]	67	生涯学習スポーツ振興課	別紙2-1
(2)区内企業等との連携によるスポーツ機会の創出	重点	①トップアスリート及びチームとの交流[再掲]	68	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-10
	-	②国際性豊かな催し物の実施	68	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-10
	-	③企業との連携協定	68	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-10
	-	④総合支所との連携強化	68	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-10
(3)東京2020大会等のレガシーの継承	重点	①MINATO シティハーフマラソンの開催[再掲]	69	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-10
	-	②ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施[再掲]	69	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-10
	-	③東京2020大会の気運醸成事業の推進とレガシーの創出	69	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-11
	-	④東京2020大会等を通じたネットワークの拡大を活用したスポーツの推進	70	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-11
	-	⑤ラグビーを生かしたスポーツ振興	70	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-11

基本目標6 健康づくりにつながるスポーツ活動の推進

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)健康づくりのための身体活動の推進	-	①健康づくり自主グループの育成及び支援	71	健康推進課	参考資料-11
	-	②健康づくりサポーターの育成及び支援	71	健康推進課	参考資料-11
	-	③ウォーキングマップの利用及び活用促進	71	健康推進課	参考資料-12
	-	④健康サポート教室(65歳未満)の開催	71	健康推進課	参考資料-12
	-	⑤「港区子ども健康読本」の発行	72	健康推進課	参考資料-12
	新規	⑥子どもの健康な身体づくりに向けた食育の推進	72	学務課	参考資料-12
	-	⑦「親子ふれあい広場」での催し物の開催	72	子ども家庭支援センター	参考資料-12
(2)介護予防等に向けた取組の展開	-	①介護予防を担う人材の養成	73	高齢者支援課	参考資料-12
	-	②介護予防体操(みんなといきいき体操)の普及	73	高齢者支援課	参考資料-12
	-	③介護予防事業の充実	73	高齢者支援課	参考資料-13
	-	④認知症予防事業の実施	73	高齢者支援課	参考資料-13
	-	⑤訪問型介護予防事業の実施	73	高齢者支援課	参考資料-13
(3)スポーツと健康づくりの活動拠点の充実	重点 新規	①スポーツと健康づくりをともに支える環境の充実	74	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	参考資料-13
	-	②ヘルシーナにおける健康増進の取組の実施	74	健康推進課	参考資料-13
	-	③スポーツセンターと区有施設との連携事業の推進	74	高齢者支援課/健康推進課/生涯学習スポーツ振興課	参考資料-14

基本目標7 先端技術で創り出す新たなスポーツの楽しみ方の実現

施策	重点 新規	事業名	計画書 掲載頁	担当課	進捗管理票 記載頁
(1)先端技術を活用したスポーツ活動の推進	重点 新規	①先端技術の活用に向けた民間企業等との連携	76	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-14
	重点 新規	②オンライン配信によるスポーツ機会の充実	76	生涯学習スポーツ振興課	別紙2-2
(2)スポーツ情報の提供	-	①SNS等を活用した情報の提供	77	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-14
	-	②区ホームページの充実	77	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-14
	-	③施設の周知、利用案内等の情報提供	77	生涯学習スポーツ振興課	参考資料-14

<進捗状況の区分>
 a: 予定どおり前期3年の指標値に到達する見込みである。
 b: 予定より成果が上がらず、指標値の達成に向け改善が必要である。
 c: 前期3年の指標値に到達する可能性がない。
 -: 指標値を把握できない。

No.(基本目標-施策-事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課		
1-(5)-①		56	○		スポーツ大会・試合・催し物の誘致	生涯学習スポーツ振興課		
事業・取組の内容							進捗状況	a
トップアスリートによるスポーツ大会や試合、催し物をスポーツセンター等に誘致することで、トップアスリートの競技を間近で観戦し、スポーツの興奮や感動を共有する機会を提供する。								
		前期3年間			後期3年間	実績の評価(令和4年度)	事業の課題や改善が必要な事項	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6～8年度			
取組目標	スポーツ大会等の誘致数	年次計画	2回	3回	4回	4回	新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、感染症対策を行った上で大会等が開催されたため、目標の誘致数は達成することができた。 なお、バスケットボール女子日本リーグ(東京羽田ヴィッキーズの試合)が予定されていたが、コロナの影響により中止となった。	港区スポーツセンターは、設備の充実度や立地の良さから利用希望が多く寄せられるが、区の事業や関連団体の大会、学校行事、選挙等、様々な用途で利用されるため、空きが少ない状況である。 また、障害者スポーツ大会を誘致し、観客動員を見込む場合は、大会当日の運営や入退場方法等における安全性を高める取組を検討する必要がある。
		実績	2回【内訳】 ・日本ハンドボールリーグ大会:9/20、11/23、2/23 ・全日本大学バレーボール選手権大会:12/1、12/2	3回【内訳】 ・全国ボッチャ選抜甲子園 8/12、8/13 ・パワーチェアーフットボール合宿 9/23、9/24 ・日本卓球リーグホームマッチ 10/24 ※上記の他、コロナによる中止1回				
成果指標①	誘致した大会等の観戦者数/年間	指標①	500人	900人	1,400人	1,400人	コロナ禍もあり、有観客で開催された大会は、1大会のみであった。 他の2大会は感染防止の観点から無観客となったため、観戦者数は指標を下回った。	今後の取組 一般団体の利用とのバランスも考慮しながら、引き続き、トップアスリートによるスポーツの大会等を誘致し、区民が間近でトップアスリートの競技を観戦できる機会を確保していく。 また、視覚や聴覚等の障害者アスリートが、利用しやすい施設となるよう、音声誘導やサイネージ活用、介助スタッフの配置など、施設内だけでなく、駅からの誘導を含め、検討する。
		実績	1,017人【内訳】 9/20:279人、11/23:363人、2/23:375人 12/1、12/2:無観客	268人【内訳】 8/12:99人、8/13:169人 9/23・24:無観客 10/24:無観客				
成果指標②	-	指標②	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
成果指標③	-	指標③	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		

No.(基本目標-施策-事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課		
2-(3)-①		59	○	○	総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)と多様な主体との連携	生涯学習スポーツ振興課		
事業・取組の内容							進捗状況	a
スポーカルは、「多種目」、「多世代」、「多様な技術や技能」に合わせて継続的にスポーツを楽しむことができる自主運営のスポーツクラブで、身近な地域でスポーツや文化活動を楽しみながら健康に暮らすとともに、地域コミュニティの活性化の核となることを目的としている。スポーツを通じた地域のつながりを創出するため、スポーカル間の交流を推進するとともに、港区スポーツセンターや(一財)港区体育協会と連携することで、スポーカルの活動のさらなる充実を図る。								
		前期3年間			後期3年間	実績の評価(令和4年度)	事業の課題や改善が必要な事項	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6～8年度			
取組目標	連携事業数	年次計画	3回	6回	9回	9回	スポーカル六本木・高松に加え、前年度はコロナの影響で実施できなかったスポーカル青山においても連携事業を実施することができた。 さらに、各スポーカル同士の連携・協力による交流事業を実施できたこともあり、目標を上回る事業数の達成だけでなく、各スポーカルの活動が活性化した。	スポーカル交流事業は、3団体が共に日頃から実施している種目で開催した。普段とは異なる相手との交流に、満足度が高い参加者がいる一方で、物足りなさを感じた参加者もいた。より多くの参加者が楽しむことができるよう実施方法等を工夫する必要がある。
		実績	4回【内訳】 ・スポーカル六本木:2回 ・スポーカル高松:2回 ・スポーカル青山:中止	8回【内訳】 ・スポーカル六本木:3回 ・スポーカル高松:3回 ・スポーカル青山:1回 ・スポーカル交流:1回				
成果指標①	事業参加者のうち、スポーカルの活動に参加したいと回答した人の割合	指標①	65%	70%	75%	75%	連携事業を多く実施できたことで、「スポーカル活動に今後も参加したい」と回答した人の割合が指標を上回る結果となった。	今後の取組 スポーカルの活動が、より魅力的な活動となり、これまで以上に参加者が増えるよう、引き続き支援していく。 令和5年度中に設立予定のスポーカル三田については、準備段階から、多様な主体との連携を視野に入れ検討するとともに、文化種目も取り入れられるように支援していく。
		実績	85%	89%				
成果指標②	-	指標②	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
成果指標③	-	指標③	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		

<進捗状況の区分>
 a: 予定どおり前期3年の指標値に到達する見込みである。
 b: 予定より成果が上がらず、指標値の達成に向け改善が必要である。
 c: 前期3年の指標値に到達する可能性がない。
 -: 指標値を把握できない。

No.(基本目標-施策-事業)		掲載ページ	重点	新規	事業名	担当課		
7-(1)-②		76	○	○	オンライン配信によるスポーツ機会の充実	生涯学習スポーツ振興課		
事業・取組の内容							進捗状況	
自宅にいてもスポーツに親しむことのできるように、各種スポーツ教室や催し物などの様々なスポーツコンテンツをオンライン配信により提供する。							b	
				前期3年間		後期3年間	実績の評価(令和4年度)	事業の課題や改善が必要な事項
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6～8年度			
取組目標	オンライン配信によるスポーツ教室数	年次計画	10教室	11教室	12教室	12教室	コロナ禍においてスポーツセンター等に来なくても、いつでもどこでも気軽に運動ができるよう、スポーツセンターの指定管理者やキスポート財団において、録画配信やライブ配信によるオンライン教室を実施した。 目標の教室数には至らなかったが、在宅で運動できるよう広いスペースを必要としない運動メニューや、いつでも運動できるよう録画配信形式としたことで参加者数が増加した。	新型コロナウイルスに関する規制が緩和されるにつれ、施設に来て運動する人がコロナ前の状況に戻りはじめている。 当初はコロナ禍を踏まえたオンライン配信を計画していたが、今後は、施設に来ることが困難な障害者や高齢者のほか、仕事や育児等により自宅等の身近な場所でスポーツを楽しみたいというニーズに応えるためのオンライン配信に移行する必要がある。
		実績	7教室【内訳】 キッズダンス、走り方、腹筋ダンス、簡単ストレッチ、骨盤ストレッチ	4教室【内訳】 録画配信(10分簡単エアロビクス、10分簡単ストレッチ、20分お家アイス体操) ライブ配信(赤ちゃんと一緒にWorkOut)				
成果指標①	参加者数/年間	指標①	200人	220人	240人	240人	教室数・メニュー数は目標を下回ったが、いつでもどこでも好きな時間に運動(視聴)できる録画配信形式(YouTube)にしたことで、1教室あたりの参加者数は計画指標を上回る結果となった。 参加者からも好評で、在宅でも気軽にスポーツに親しむ機会を提供することができた。	今後の取組 引き続き、いつでもどこでもだれでも、身近な場所でスポーツに親しむことができるような運動プログラムとするとともに、YouTubeによる録画配信を継続する。 また、コロナ終息後の環境変化に合わせたニーズ把握と新たな生活様式に適したスポーツに親しむ機会を提供していく。
		実績	142人【内訳】 キッズダンス11人、走り方79人、腹筋ダンス28人、簡単ストレッチ5人、骨盤ストレッチ19人	2,088人【内訳】 10分簡単エアロビクス1,793人、10分簡単ストレッチ160人、20分お家アイス体操68人、赤ちゃんと一緒にWorkOut67人				
成果指標②	-	指標②	-	-	-	-		
成果指標③	-	指標③	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(1)-①	51	—	—	地域スポーツ教室の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	地域の人々が様々なスポーツを体験するきっかけの場を提供するために、中学校区ごとに学校施設などを拠点として、スポーツ推進委員会を中心に、地域スポーツ教室を開催 働き盛り世代の人たちや高齢者、障害者などの参加者の拡大を図るとともにSNSを活用した周知を行う。	スポーツ推進委員会が主体となり親子、高齢者、障害者の方が気軽に参加できる「卓球」、「バドミントン」、「ボッチャ」などの教室を実施 区内の中高生プラザやいきいきプラザなどに募集ちらしを配布。 開催回数:62回 参加者数:1,600人	スポーツ推進委員会が主体となり親子、高齢者、障害者の方が気軽に参加できる「ボッチャ」や「ヨガ」などの教室を実施 区内幼小中学校へ募集ちらしを配布し、区設掲示板に掲示した。 開催回数:58回 参加者数:1,883人		—	より多世代が参加できるようにヨガ教室を新たに実施し、多くの参加者を得ることができた。	引き続き、新しい種目を取り入れつつ、より多くの方に参加してもらえる教室を実施していく。
1-(1)-②	51	—	—	みなと区民スポーツ・体育祭の開催	生涯学習 スポーツ 振興課	「みなと区民スポーツ・体育祭」では、誰もが気軽にスポーツを体験できる機会を提供する「スポーツまつり」と(一財)港区体育協会加盟団体による競技大会の「体育祭大会」を開催	令和3年10月24日(日)に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止	令和4年10月10日(月)にみなと区民スポーツ・体育祭を開催した。 参加者数:10,250人		—	多くの人が気軽にスポーツを体験できる機会となった。	今後も誰もがスポーツに触れられる機会として、継続的に開催していく。
1-(1)-③	51	○	—	MINATOシティハーフマラソンの開催	生涯学習 スポーツ 振興課	大会の開催に当たり、地域振興、国際化、教育、文化など、地域共生社会の実現に向けた基盤づくりとなるよう区内企業をはじめとする様々な関係団体等と連携するほか、区民等がボランティアとして参加することで、MINATOシティハーフマラソンを地域ぐるみで世界に誇れる大会へと創り上げ、また、育てていくことにより、コミュニティの活性化、港区への愛着と誇りの機会の創出につなげる。	令和3年11月23日(火・祝)に予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止	区、事業者、区内で活動する地域団体等で構成する「港区マラソン実行委員会」等が主催となり、3年振りに開催 また、大会を通じて寄せられた寄付金については港区社会福祉協議会に贈呈 開催日:11月20日(日) ランナー参加者数:ハーフ5,625人、ファンラン453人 ボランティア:985人		—	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、3年振りの開催となったが、大きな事故なく無事に開催できた。 折り返しの多いコースのため、ランナーが渋滞することや交通規制開始及び解除方法の認識のズレ等があった。また、ボランティアの熟度向上も課題である。	2023大会を円滑及び安全安心に開催するため、2022大会で確認できた課題を関係団体等と調整及び検討し、解決する。 また、ハーフマラソンの日本陸上競技連盟公認期間が2026年7月までとなっているため、新たなコースを検討する他、増上寺改修工事に伴う代替場所の検討等についても2023大会の準備と並行して行う。
1-(2)-①	52	—	—	子どものスポーツ観戦・体験機会の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく連携により、区立小・中学校の児童・生徒にラグビー観戦の機会を提供しているほか、保育園児等の幼児を対象とした「タグラグビー体験会」や小学生を対象とした「タグラグビー教室」、障害者向けタグラグビー教室を開催 様々な競技団体と連携することで、子どもがスポーツに触れる機会の充実を図る。	・サンゴリアス応援ペアラグビー招待 参加者数:138人 ・幼児タグラグビー教室(保育園・幼稚園) 参加者数:延1,749人 ・小学生タグラグビー教室(港陽小学校、港南小学校) 参加者数:延275人 ・キッズタグラグビーフェスティバル 参加者数:236人	(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく事業を実施 ・観戦機会5回 参加者数:497人 ・体験機会107回 参加者数:延5,226人		—	子どもたちに、スポーツを「する」「みる」機会を提供することができた。	引き続き、子どもたちがスポーツに触れられるよう、多くの機会をつくっていく。
1-(2)-②	52	—	—	幼児の体力増進の取組	生涯学習 スポーツ 振興課	幼児を対象に、専門の指導員によるスイミングやフットサルなどを実施する。	スポーツセンター等で、幼児の水泳教室やキッズバレエ、キッズ体操、キッズフットサル、キッズテニス教室を実施 実施回数:354回 参加者数:延2,520人	スポーツセンター等で、幼児の水泳教室やキッズバレエ、キッズ体操、キッズフットサル、かけっこ教室を実施 実施回数:609回 参加者数:延3,858人		—	幼児の体力増進に寄与する教室を実施することができた。	引き続き、港区スポーツセンターをはじめとした区内運動施設で利用者ニーズに応じた幼児向け教室を実施していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(2)-③	52	—	—	子どものスポーツ大会の支援	生涯学習スポーツ振興課	子どものスポーツをするきっかけづくりを推進するため、子どもを対象とするスポーツ大会や催し物を支援	わんぱく相撲港区大会の運営に要する経費の一部を助成	区内で実施するスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を助成 補助決定団体数:7団体		—	令和4年度から新たな補助金事業として実施した。予算残に応じて追加募集を行うなど、広く募集をすることができた。	引き続き、補助金事業として実施する。周知方法を見直し、様々な団体が活用できるよう周知を強化する。
1-(2)-④	52	—	—	「放課GO→」・「放課GO→クラブ」での体力向上の取組	各総合支所管理課/子ども若者支援課/生涯学習スポーツ振興課	児童が放課後等の学校施設などを活用し、安全に安心して活動できる居場所「放課GO→」「放課GO→クラブ」を実施 「放課GO→」「放課GO→クラブ」で行う様々なスポーツプログラムを通じて、子どもたちの体力向上を図る。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、放課GO→を中止し、代替事業として緊急児童居場所づくり事業を実施した。	新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底したうえで、令和4年4月から放課GO→を再開し、専門の指導員が見守る中で、遊び、スポーツや工作等の活動をしながら放課後の時間を過ごす場を提供した。		—	放課GO→は、令和4年4月の再開以来、利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により中止をしていた令和元年度以前の児童数で推移している。	引き続き、児童が放課後等の時間に安全・安心に活動できる居場所づくりを提供し、子どもたちの体力向上を図る。
1-(2)-⑤	52	—	—	児童館・子ども中高生プラザでの体力向上の取組	各総合支所管理課/子ども若者支援課	児童の健全育成のため、学習、遊び、スポーツなどの場と機会を提供 児童館・子ども中高生プラザの施設や事業において、スポーツや遊びを通じて体力向上を図る。	感染症対策のため、活動が限られる中、施設状況や利用状況に応じ、各施設が工夫の上事業を実施した。	感染症対策のため、活動が限られる中、施設状況や利用状況に応じ、各施設が工夫の上事業を実施した。		—	感染症対策を講じながら各施設が工夫の上事業を行った。	引き続き、スポーツや遊びを通じて体力向上を図る。
1-(2)-⑥	53	—	—	小学校における連合運動会等の開催	教育指導担当	各学校間の交流を通じて、協調性や連帯感を育成するとともに、児童の体力向上を図るため、区立小学校6年生を対象とした「連合運動会」を実施 各学校間の交流や、児童の体力の向上、泳力の向上をめざし、区立小学校6年生を対象とした「水泳記録会」を実施	令和3年10月5日(火)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止とした。	令和4年10月4日(火)に駒沢陸上競技場で連合運動会を実施した。		—	3年ぶりの開催で、競技の行い方や競技場の使い方などの引継ぎが継承されていなかった。ソフト面の強化を行っていく必要がある。	令和5年9月27日(水)に新国立競技場で連合運動会を実施する。
1-(2)-⑦	53	—	—	中学校における体育大会等の開催	教育指導担当	区立中学校2年生を対象に、都立駒沢オリンピック公園総合運動場で「連合体育大会」を行う。大会本番に向け、各学校での保健体育科の授業や朝の始業前の時間、放課後の練習を通じて体力・運動能力の向上を図る。生徒の泳力の向上をめざすほか、学校間の親睦を図ることを目的として、区立中学校の代表生徒による「中学校水泳記録会」を実施	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止とした。	令和4年10月5日(水)に駒沢陸上競技場で連合運動会を実施した。		—	3年ぶりの開催で、競技の行い方や競技場の使い方などの引継ぎが継承されていなかった。ソフト面の強化を行っていく必要がある。	令和5年9月26日(火)に新国立競技場で連合運動会を実施する。
1-(2)-⑧	53	—	—	特別支援学級合同運動会の開催	教育指導担当	区立小・中学校特別支援学級の児童・生徒が一堂に会し、競技や演技を通じて、各校との交流を図るとともに、体力を高めるために、「特別支援学級合同運動会」を実施	令和3年10月8日(金)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止とした。	令和4年10月7日(金)に港区立スポーツセンターで合同運動会を実施した。		—	競技種目の見直しやプログラムの精選を行い、児童・生徒の実態に合った合同運動会を実施することができるようにする。	令和5年10月6日(金)に港区立スポーツセンターで合同運動会を実施する。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(3)-①	54	—	—	スポーツセンター等での夜間の教室開催	生涯学習スポーツ振興課	働き盛り世代が仕事帰りに気軽にスポーツに取り組めるよう、スポーツセンターや各スポーツ施設での夜間の教室プログラムを実施	トレーニングパークや第一競技場にて、ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施	トレーニングパークや第一競技場にて、ピラティスやストレッチ等のプログラムを働き盛り世代が参加しやすい19時以降に実施		—	昨年度まではコロナにより夜間利用者が減少していたが、利用が回復傾向である。	働き盛り世代等の夜間参加者のニーズに応じたスタジオプログラムや自主事業を実施するとともに、オンラインプログラムの実施を検討していく。
1-(3)-②	54	—	—	子育て世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	子育て中の親が安心してスポーツに取り組めるよう、親子で楽しむことができる運動教室やスポーツ体験における親子参加型事業の充実に取り組む。	・スポーツセンターで実施 親子で楽しむ運動教室56回開催 延参加者892人(446組) 親子でエアロブックス2回開催 延参加者38人(19組) ・地域スポーツ教室で実施 実施回数:20回 参加者数:915人	・スポーツセンターで実施 親子で楽しむ運動教室86回開催 延参加者1,482人(741組) ベビースイミング70回開催 延参加者914人(457組) ・地域スポーツ教室で親子で楽しめる教室を実施 実施回数:20回 参加者数:975人		—	スポーツ推進委員が主体となって多くの教室を開催することができた。	港区スポーツセンターや地域スポーツ教室において親子で参加できる運動教室を引き続き実施していく。他の種目の教室の開催についても検討していく。
1-(3)-③	54	—	—	働き盛り世代のスポーツ活動への参加促進	生涯学習スポーツ振興課	働き盛り世代が日常的にスポーツに取り組めるよう、区内企業に対し、区が主催するスポーツ体験会への参加を働きかけ、働き盛り世代のスポーツ活動の活性化を図る。	働き盛り世代がスポーツに参加しやすいように、オンラインでの教室やウォーキングイベント等を実施した。	働き盛り世代もスポーツに参加しやすいように、オンラインによる教室やウォーキングイベントを実施した。		—	働き盛り世代が参加しやすい形で実施することができた。	働き盛り世代に人にもスポーツ活動を促していけるよう、今後もオンラインによるプログラムの実施を検討する。
1-(3)-④	54	—	○	働き盛り世代への運動プログラムの周知	生涯学習スポーツ振興課/健康推進課	働き盛り世代がスポーツに取り組むきっかけとするため、区が作成している「働くあなたのスマートライフ～働き盛り世代の健康ハンドブック～」や、東京都が東京商工会議所と連携して作成している「オフィスdeエクササイズ～働き盛り世代の運動習慣定着化ガイドブック」を活用した周知に取り組む。	・ホームページにて様々な情報を周知 ・健康講座や港地区健康と安全推進大会において「働き盛り世代の健康ハンドブック」を配布し、出張健康講座(ちよこつと運動)を実施した。	・ホームページにて様々な情報を周知 ・港地区健康と安全推進大会において「働き盛り世代の健康ハンドブック」を配布し、保健師が区立図書館等で出張健康講座を実施した。 出張健康講座6回/参加者158人		—	各地区担当保健師が地域に向向き、健康ハンドブックを用いて健康教育を実施することができた。	今後も、地区毎の健康課題等に合わせて働き盛り世代への健康教育を実施していきたい。
1-(4)-①	55	—	—	高齢者向けスポーツ教室の実施	生涯学習スポーツ振興課	高齢者が気軽に参加できるような様々な種目によるスポーツ教室や催し物を実施 スポーツ推進委員と連携して、地域スポーツ教室で高齢者が気軽に楽しみながら体を動かすことができるニュースポーツを取り入れた教室も実施	地域スポーツ教室においてラジオ体操教室等を実施 実施回数:17回 参加者数:785名	地域スポーツ教室においてヨガ教室等を実施 実施回数:24回 参加者数:859名		—	これまで行ってきたラジオ体操等にヨガを追加し、昨年度よりも多くの高齢者も参加しやすい教室を実施することができた。	引き続き、老若男女問わず気軽に参加できるような教室を開催していく。
1-(4)-②	55	—	—	さわやか体育祭の開催	各総合支所管理課/高齢者支援課	年1回、スポーツセンターに、いきいきプラザなどの利用者が集い、体力に応じたスポーツやゲーム、体操などを行い、親睦を深める。保育園児も参加し、一緒にゲームなどを行うことにより世代間交流を図る。また、男性高齢者の参加促進など、新たな層への参加を働きかける。	さわやか体育祭(リモート開催)参加者実績232人(男性参加率アンケート回答者の11%)	さわやか体育祭(リモート開催)参加者実績241人(男性参加率アンケート回答者の11%)		令和4年度については令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していたスポーツセンターでの開催を実施せず、リモートで開催した。	オンライン開催は、それぞれの会場で盛り上がり、利用者も楽しんでいたので良かったと思うが、競技中も他の会場の様子まではわからないので、難しさを感じた。 さわやか体育祭実行委員経験職員が少なくなっている。	・実施を継続する。 ・令和5年度は4年ぶりに参集での開催になるため、コロナ感染予防対策を徹底し、安心・安全な大会運営を行う。 ・男性高齢者の参加促進のため、来館時にさわやか体育祭の案内をし、参加を働きかけていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(4)-③	55	—	—	いきいきプラザ 各種教室及び講 座の開催	各総合支 所管理課/ 高齢者支 援課	60歳以上の区民を対象に、区内 のいきいきプラザで卓球やウォー キングなど、多彩な教室や講座を 開催 仕事や趣味、ボランティア活動 などを行っている元気な高齢者な ど、新たな層の利用を促進する。	卓球教室やダンス教 室、ウォーキング教室等 を開催した。 港区立いきいきプラ ザ等地域訪問事業等 により、いきいきプラ ザの利用促進を図った。	卓球教室やダンス教 室、ウォーキング教室等 を開催 港区立いきいきプラ ザ等地域訪問事業等 により、いきいきプラ ザの利用促進を図った。		令和4年度につ いては、新型コロ ナウイルス感染症 拡大防止のため事 業の変更等が一部 生じた。	多様な教室・講座 を実施し、多くの高 齢者の参加が得ら れた。 高齢者人口の増 加に伴い、教室事 業の需要と供給の 適正化が必要 新型コロナウイルス 感染症の感染予 防を契機として、オ ンラインの活用等 による運動機会の提 供	各種教室の実施にあたり、 利用者等の意見を反映させ るなどの工夫を凝らし、利用 者の増加を図るとともに、新 規利用者が参加しやすい環境 づくりを進める。また、令和5 年4月に神応いきいきプラザ を新規開設することで、各種 教室及び講座の開催を増や す。
1-(5)-②	56	—	—	スポーツ大会等 の情報発信	生涯学習 スポーツ 振興課	区内で開催されるトップアス リートによる大会や試合等の情報 や競技の内容等を積極的に発信 し、区民の「みる」スポーツ活動 を促進する。	スポーツセンターに、 サンゴリアスの試合の 日程や結果のパネルを 展示した。また、日本ハ ンドボール大会の際 に、大会実施の情報を みなどパーク芝浦のデ ジタルサイネージで発 信した。	スポーツセンターに、 サンゴリアスの試合の 日程や結果のパネルを 展示した。また、女子ラ グビーワールドカップ ニュージーランド大会の 際に、大会実施の情報、 試合結果を館内掲示し た。		—	パネルのほか、デ ジタルサイネージを 活用することで、効 果的に情報を発信 することができた。	パネルの展示、デジタルサイ ネージやポスターの掲示等 により引き続き大会の情報を 発信していく。
1-(6)-①	57	—	—	区民大会等の開 催	生涯学習 スポーツ 振興課	競技スポーツの日頃の練習の成 果を発揮するため、「区民大 会」、「都民体育大会港区予選 会」、「都民生涯スポーツ大会港 区予選会」等を開催し、区民のス ポーツ活動の普及と体力向上を図 る。	5月～8月の間に港区 スポーツセンター及び 他会場において実施	年間を通して港区ス ポーツセンター及び他 会場において実施		—	各競技団体が感 染症対策を行い、 多くの大会を開催 できた。	引き続き、感染症対策を行 い、スポーツセンターや運動 場で大会を開催できるよう協 力していく。
1-(6)-②	57	—	—	定期練習会の開 催	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツセンター等で弓道、剣 道、柔道、合気道、なぎなた等の 定期的な練習を行う。定期的な練 習の機会を提供し、指導員を配置 して実技指導を行うことで、技術 の上達を支援する。	年間を通して、火曜日 に合気道・子供剣道・剣 道・弓道、水曜日に民 謡、木曜日に、剣道・民 謡、金曜日に子供剣道・ 空手道・アーチェリー、 土曜日に、子供柔道・柔 道・子供なぎなた・なぎ なたを実施。指導員に よる技術向上及び運動 機会の普及を行っている。 令和3年度 参加者数:8,297人	年間を通して、スポ ーツセンターでは火曜日 に合気道・子供剣道・剣 道・弓道、水曜日に民 謡、木曜日に、剣道・民 謡、金曜日に子供剣道・ 空手道・アーチェリー、 土曜日に、子供柔道・柔 道・子供なぎなた・なぎ なたを実施。指導員に よる技術向上及び運動 機会の普及を行っている。 令和4年度 参加者数:14,288人		—	定期的な練習会 を実施することで、 技術の向上を支援 することができた。	引き続き、定期練習会を開 催し、区民のスポーツの技術 力の向上を図っていく。
1-(6)-③	57	—	—	個人公開指導の 実施	生涯学習 スポーツ 振興課	バスケットボール、バドミント ン、卓球等のスポーツを楽しむ機 会を提供するため、スポーツセン ターの各競技場を公開する。定期 的な練習の機会を提供し、指導員 を配置して実技指導を行うこと で、技術の上達を支援する。	団体予約の入ってい ない利用枠は、個人利 用枠として開放 バスケットボール、バ レーボール、バドミント ン、卓球、弓道、アー チェリー、空手、剣道、 合気道、柔道、なぎな た、民謡、民舞、モダン ダンスについては指導 員が常駐する時間を設 け、実技指導を行った。	団体予約の入ってい ない利用枠は、個人利 用枠として開放 バスケットボール、バ レーボール、バドミント ン、卓球、弓道、アー チェリー、空手、剣道、 合気道、柔道、なぎな た、民謡、民舞、モダン ダンスについては指導 員が常駐する時間を設 け、実技指導を行った。		—	卓球、バドミント ンなどの人気種目 は参加者が多いた め抽選になり、利用 できない人がいる ことが課題である。	施設利用時間等に柔軟に対 応し、定期的な練習の機会を 提供すると共に技術の上達 を支援していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
1-(6)-④	57	○	—	トップアスリート及びチームとの交流	生涯学習スポーツ振興課	トップアスリートやチームから直接指導を受ける機会を創出するため、区内企業等との連携により、スポーツ教室や交流事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・サンゴリアスラグビー体験教室 日程:6月11日(土) 参加人数:78人 ・港区×明治安田生命パラスポーツ体験教室 日程:6月18日(土) 参加人数:33名 ・東京羽田ヴィッキーズバスケットボール教室 日程:12月24日(土) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・港区×明治安田生命サッカー教室 日程:1月15日(日) 参加人数:94人 ・サンゴリアスラグビー体験教室 日程:9月11日(土) 参加人数:78人 ・港区×明治安田生命パラスポーツ体験教室 日程:6月18日(土) 参加人数:33名 ・東京羽田ヴィッキーズバスケットボール教室 日程:12月24日(土) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・港区×明治安田生命サッカー教室 日程:1月15日(日) 参加人数:94人 ・みんなのスケボー体験教室 日程:2月5日(土) 参加人数:37人 ・東京羽田ヴィッキーズバスケットボール教室 日程:3月11日(金) 参加人数:28人 			—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった教室もあったが、トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実に取り組めた。	引き続き、様々な競技のトップアスリートやチームと直接交流ができるような事業実施を検討していく。
2-(1)-①	58	○	—	スポーツボランティア活動の普及と定着	生涯学習スポーツ振興課	東京2020 大会後もスポーツを「支える」活動が継続されるよう、関係団体との連携を図り、スポーツボランティア活動の更なる普及と体制の整備を図る。	区主催事業のほか、民間企業との連携によりスポーツボランティアの活動の場を確保した。	区主催事業のほか、民間企業や競技団体との連携によりスポーツボランティアの活動の場を確保した。	—	昨年度と比べ、ボランティアの活動の場をより多く確保できた。	また、関係団体と連携し、スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図っていく。	
2-(1)-②	58	—	—	ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施	生涯学習スポーツ振興課	スポーツボランティアへの参加を拡大していくために、各競技やボランティアに関する知識を学ぶことができる講座を実施し、ボランティアリーダーとなれる人材の育成に取り組む。関係団体と連携し、スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図る。	延べ参加者数58名 オンライン開催含め選択制による講座を6回開催した。限定公開のYouTubeによるアーカイブ配信を本格開始した。また、実践活動を2回行った。	講座(年10回)及び実践活動を実施した。 講座参加者数:延120名 実践活動参加者数:延75名	—	講座参加者数とともに実践活動参加者数も、昨年度と比べ増加することができた。対象拡大のため、登録年齢の引き下げの検討が必要	引き続き、講座を実施し、ボランティアリーダーとなれる人材の育成に取り組むとともに、登録者の増加のため、HPやSNSの周知を充実していく。	
2-(2)-①	58	—	—	部活動指導員の活用	教育指導担当	部活動指導員の任用や研修などの整備を進め、部活動指導員を活用して専門的な技術指導を行うことにより、体力、運動能力の向上をはじめ、協調性やマナーなどを習得することで、区立中学校の部活動の充実を図る。	学校地域支援本部と協力し、部活動指導員について、中学校に66名を派遣し、指導の充実を図った。	部活動指導員について、業務委託により、中学校の18部活に配置し、指導の充実を図った。	—	各学校の実態に合わせて、部活動指導員を活用して専門的な技術指導を行うことができた。	令和5年度以降は、業務委託により、区立中学校のすべての部活動に部活動指導員を配置し、区立中学校の部活動のさらなる充実を図る。	
2-(2)-②	58	—	—	武道における外部指導員の活用	教育指導担当	区立中学校における武道の授業に地域人材などを外部指導員として配置し、専門家の指導による技術面の向上を図るとともに、安全面に配慮した指導を行う。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら、専門性の高い指導を行った。	区立中学校10校において外部講師を配置し、安全面に配慮しながら、専門性の高い指導を行った。	—	専門性の高い外部講師を各学校に配置することで、より効果的な指導を行うことができた。感染症対策を講じながら、武道の学習を実施していく必要がある。	引き続き、区立中学校における武道の授業に地域人材等を外部指導員として配置し、専門家の指導による技術面の向上を図るとともに、安全面に配慮した指導を行う。	

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
2-(3)-②	59	—	—	総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)の活性化	生涯学習スポーツ振興課	スポーカルは、地域で身近にスポーツを楽しめる場であり、区が推進するスポーツ振興の一翼を担う存在であることから、区内にある3つのスポーカル(スポーカル六本木、スポーカル高松、スポーカル青山)について、SNS等を活用した周知活動や活動の場の確保を支援し、スポーカルの認知度向上と活性化を図る。	・スポーカル六本木 会員数:348人 ・スポーカル高松 会員数:247人 ・スポーカル青山 会員数:212人 スポーカル周知イベント 開催回数:5回 参加者数:650人	・スポーカル六本木 会員数:401人 ・スポーカル高松 会員数:367人 ・スポーカル青山 会員数:243人 スポーカル周知イベント 開催回数:6回 会員数:746人		—	多様な主体と連携することで、スポーカルへの関心を高め、会員数を増加させることができた。	令和5年度中の「スポーカル三田」の設立に向けて準備していくとともに、会員数を確保できるよう適切に支援していく。
2-(3)-③	60	—	—	社会体育団体等への支援	生涯学習スポーツ振興課	区におけるスポーツ指導者の育成やスポーツ振興を充実するため、社会体育団体等を支援する。(一財)港区体育協会加盟団体が実施する指導者育成に向けた講習会等への助成を行う。	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼を助成 助成団体数:16団体	社会体育団体が実施する指導者育成のための研修会等に係る講師謝礼を助成 助成団体数:17団体		—	事業の実施通知に記載する事業目的や条件が、わかりやすくなるよう見直しをした。	引き続き、丁寧な事業周知を行い、社会体育団体育成事業の目的に沿った活動へ助成を継続する。
2-(3)-④	60	—	—	スポーツ推進委員の活動支援	生涯学習スポーツ振興課	スポーツ推進委員の資質向上に向け、障害者スポーツや誰もが気軽に取り組めるニュースポーツを推進するための研修を実施するなど活動を支援する。	・障害者スポーツ理解促進研修(11/27) ・車いすバスケ研修(2/27) ・走り方研修(3/20) ・関東スポーツ推進委員研究大会、全国スポーツ推進委員研究大会は中止	・ブラインドサッカー研修(6/30) ・ドッチビー研修(7/31) ・忍者教室研修(9/3) ・関東スポーツ推進委員研究大会 中止 ・全国スポーツ推進委員研究大会(11/17, 11/18)		—	障害者スポーツのほか、ニュースポーツの研修を実施した。また、3年ぶりに開催された全国スポーツ推進委員研究大会への参加を支援したことで、資質向上につなげることができた。	引き続き、スポーツ推進委員の資質向上に向け、障害者スポーツやニュースポーツの研修を実施するなど活動を支援する。
2-(4)-①	61	—	—	スポーツ推進委員との連携	生涯学習スポーツ振興課	スポーツ推進委員と連携し、地域スポーツ教室の開催によるスポーツ活動のきっかけづくりや、総合型地域スポーツ・文化クラブの運営支援を行い、地域スポーツ活動の推進に取り組む。	・地域スポーツ教室 開催回数:62回 参加者数:1,600人 ・スポーカル周知イベント 開催回数:5回 参加者数:650人	・地域スポーツ教室 開催回数:58回 参加者数:1,883人 ・スポーカル周知イベント 開催回数:6回 参加者数:746人		—	各地区で地域スポーツ教室を実施し、スポーカル周知イベントは規模を縮小し、複数回実施する等工夫することで、参加者が増加した。	引き続き、より良い地域スポーツ教室を実施するとともに、スポーカル三田の設立に向けてスポーツ推進委員と連携していく。
2-(4)-②	61	—	—	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団との連携	生涯学習スポーツ振興課	区民が広く参加できるスポーツ教室等を実施している(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、お台場海浜公園など区内の観光資源を活用したスポーツの催し物を開催するなど、区民のスポーツ活動の普及に取り組む。	お台場ナイトマラソンやトライアスロン教室入門編などの地域特性を生かした事業のほか、オンラインによるダンスやストレッチ教室、バーチャルドッジボール「HADO」などの事業を(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団が実施 回数:167回 参加者数:6,886人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン教室などの地域特性を生かした事業のほか、オンラインによる教室やイベント、バーチャルドッジボール「HADO」などの事業を(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団が実施 回数:238回 参加者数:13,764人		—	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携し、多様な事業を実施することができた。	区民のスポーツに対する興味や関心を高めていくために、魅力的な事業を展開していく。
2-(4)-③	61	—	—	(一財)港区体育協会との連携	生涯学習スポーツ振興課	競技スポーツにおける競技力の強化及び指導者の育成を役割とする(一財)港区体育協会と連携し、各加盟団体の実技指導員の活躍の場を拡げることで、質の高い指導による区民の競技スポーツの技術向上につなげる。	(一財)港区体育協会・(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団・指定管理者・教育委員会と定期的に各事業に関する情報共有を行い、連携を図っている。	(一財)港区体育協会・(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団・指定管理者と定期的に各事業に関する情報共有を行い、連携を図っている。		—	各競技団体の強化、競技力の向上に向けて事業を実施することができた。	事業の内容をより充実させるため、連携を深めていく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
2-(4)-④	61	—	—	競技団体との連携	生涯学習 スポーツ 振興課	地域社会におけるスポーツの発展を目的として、競技団体と協定を締結している。互いが有する資源を活用し、連携することで、スポーツ振興事業を推進	連携協定に基づき、ラグビーの体験教室等を実施した。	連携協定に基づき、ラグビーの試合観戦やラグビー体験教室を実施した。		—	ラグビー競技の普及啓発を通じて、区民のスポーツへの関心を高めることができた。	引き続き、連携協定を契機として、多くの事業を実施していく。
3-(1)-①	62	○	—	区立のスポーツ施設等の環境整備	生涯学習 スポーツ 振興課	区立のスポーツ施設等について、施設利用者の要望も踏まえながら、気軽にスポーツを楽しめるような環境を整える。 特に、スポーツセンターの利用者が急増している状況を踏まえ、多種目の利用が可能なスポーツ施設の整備について検討	麻布運動場、芝浦中央公園運動場、芝公園多目的運動場において、令和3年11月1日から利用時間を通年で午前8時から午後9時までに拡大した。	麻布運動場野球場で、土埃の飛散の抑止及び雨天後の速やかな利用を可能とするため、野球場の人工芝生化工事を実施した。		—	人工芝生化することで、雨天後でも速やかに利用ができるようになり、スポーツを楽しめる機会を拡充することができた。	利用者ニーズの把握に努め、気軽にスポーツができる環境整備に向け、地域との調整を進めていく。 また、青山児童館跡地を活用したスポーツ施設の整備の検討を進める。
3-(1)-②	62	—	—	児童遊園の充実	土木課	地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域のコミュニティ形成の拠点のひとつとして、安心して集える魅力ある児童遊園を整備	令和3年度に地域の方々の声を反映した基本設計に基づき、「西町つなぐ児童遊園」を新規整備し、12月27日に供用開始した。	令和4年度に地域の方々の声を反映した基本設計に基づき、「古川さくら児童遊園」を新規整備し、令和5年2月1日に供用開始した。		—	計画通り実施 公園が不足する地域において、新規整備が求められるが、用地確保が困難である。	地域の子どもたちが安全に遊べる身近な場所、また、地域のコミュニティ形成の拠点のひとつとして、安心して集える魅力ある児童遊園を整備していく。
3-(1)-③	62	—	—	校庭の整備等、学校における運動環境の充実	学務課/学 校施設担 当	子どもたちが体育の授業や課外活動など、1年をとおして良好な校庭環境の中で使用できるよう、小学校の校庭改修の際に人工芝を導入するなど、安全性や機能性、維持管理面を考慮し、整備などを推進 体育の授業以外でも、放課後などの時間に児童・生徒が運動できるよう、学校の運動器具や用具を充実	芝小学校校庭に人工芝を導入するとともに、御成門小学校にボルダリングウォールを設置	区立の全小学校及び全幼稚園にボルダリングウォールを設置		—	設置したボルダリングウォールについては、継続的な利用につながる対策が必要である。	引き続き、学校と協議を行い、人工芝や運動器具・用具の整備を希望する学校への導入を行っていく。
3-(2)-①	63	—	—	校庭及び体育館等の開放	生涯学習 スポーツ 振興課	地域の人々のスポーツ活動の場として、教育委員会に登録した港区立学校施設等使用事前届出団体等に、全ての区立小・中学校の校庭及び体育館を地域に開放し、学校施設の活用を推進	登録団体以外の一般団体にも開放した。 令和3年度利用実績： 15,532件 417,191人	登録団体以外の一般団体にも開放した。 令和4年度利用実績： 18,059件 552,740人		—	地域のスポーツ活動団体へ地域に身近な場所でスポーツ活動の場を提供することができた。	令和5年10月には、全学校に施設予約システムを導入し、利用者の利便性向上と学校側の負担軽減を図りながら、施設開放の取組を実施する。
3-(2)-②	63	—	—	学校屋内プールの開放	生涯学習 スポーツ 振興課	誰もが身近なところでスポーツに親しめるよう、区立小・中学校の屋内プールを開放 学校屋内プールの利用を一層促進するため、水泳教室の充実や利用方法の改善に取り組むとともに、施設の周知を図り、活用を推進	区立小・中学校7校でプール開放を実施 年間プール利用者： 46,701人 開放実施校7校で、12月～3月の期間に各10回程度の水泳教室を実施 水泳教室参加者数：延478人	区立小・中学校7校でプール開放を実施 年間プール利用者： 57,065人 開放実施校7校で、4月～6月、10月～12月、1月～3月の期間に各10回程度の水泳教室を実施 水泳教室参加者数：延2,012人		—	7月～9月を除き、通年で水泳教室を実施することで、区民に対し運動する機会を提供することができた。	小・中学生にスポーツ活動の機会を創出し、健康づくりを促進するため、夏休み期間中に短期集中型の水泳教室を実施する。
3-(2)-③	63	—	—	遊び場開放事業の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	子どもたちを交通事故、その他の危険から守るとともに、健全育成を図ることを目的として、区立小学校の校庭及び体育館を、幼児・児童の身近で安全な遊び場として開放	実施校：17校 参加者数：2,273人	実施校：18校 参加者数：2,612人		—	幼児・児童の身近で安全な遊び場を確保することができた。	周知方法の工夫やイベントを実施するなど、更なる利用者増加に努める。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
3-(2)-④	63	—	—	園庭等の開放	学務課	未就園児に対して、区立幼稚園の園庭や園舎などを開放し、遊び場を提供	実施園:12園 参加者数:延べ1,089人	実施園:12園 参加者数:延べ2,611人		—	未就園児の会の参加者が昨年度に比べ1,522人増加するなど、多くの方に利用していただけた。	引き続き、未就園児に対して園庭等を開放することで、交流の機会を設けていく。
3-(3)-①	64	—	—	大学等のスポーツ施設等の活用	生涯学習スポーツ振興課	区内大学等と連携し、区と大学等の所有する知識や施設等を最大限活用したスポーツ活動の拡充に努める。 身近な場所で区民大会等を開催できるように、都立運動場等の利用を継続	東京女子学園に打診し、改築後の学校体育館を区民に開放していただくことを確認した。	東京海洋大学品川キャンパスのグラウンドについて、地域への活用を打診した。 また、民間企業の施設活用に関する協議を開始した。		—	新たに東京海洋大学品川キャンパスのグラウンド活用し、スポーツ活動の場を拡充できるよう協議の場を設けた。	大学が所有する知識や施設等を活用したスポーツ事業が行えるよう検討する。
3-(3)-②	64	—	—	区外における運動施設の活用	生涯学習スポーツ振興課	区民が幅広くスポーツ活動に参加できるよう、区内に限られた運動施設だけではなく、区外にある運動施設を活用できるよう検討	江戸川河川敷グラウンドを借り上げ、少年野球チームや一般の団体への貸し出しを行った。	江戸川河川敷グラウンドを借り上げ、少年野球チームや一般の団体への貸し出しを行った。		—	区内で活動する野球チームの活動場所として、区外で屋外野球場を確保するとともに、麻布運動場野球場の休止期間中の代替場所として活用した。	引き続き、江戸川河川敷グラウンドの借り上げを行う。区民が行いたいスポーツや不足していると感じているスポーツ施設の状況把握に努める。
3-(3)-③	64	—	—	プレーパークの推進	各総合支所まちづくり課/土木課	子どもがのびのびと思い切り遊べるように禁止事項をできるだけ少なくし、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に、自然の中で子どもがやりたいことを自分自身の手で実現していき、遊ぶことをとおして、自主性や社会性を身に付け、豊かに成長していくため冒険遊び場(プレーパーク)づくりに取り組む。	【芝浦港南】港南三丁目遊び場24回実施 【土木課】高輪森の公園 154回 亀塚公園 10回	【芝浦港南】港南三丁目遊び場25回実施 【高輪】高輪森の公園 164回 亀塚公園 22回		—	【芝浦港南】計画通り実施 【高輪】計画通り実施	【芝浦港南】令和5年度予定25回(引き続き区民団体の自主運営に向けた支援を行う) 【高輪】令和5年度予定高輪森の公園 167回 亀塚公園 31回
4-(1)-①	65	—	—	障害者のスポーツ教室の開催	障害者福祉課	障害のある人を対象に、いすに座りながらできる簡単なストレッチやタオルなどを使った運動と筋力トレーニングを行う「リフレッシュ体操教室ホップ」と、マットを使い、自分で動かせる範囲で身体を動かし健康の増進を図る「リフレッシュ体操教室ステップ」を実施	年間19回開催 参加者:延158名	年間24回開催 参加者:延232名		—	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえ、場所・回数・内容を検討する。	幅広い内容の講座を実施することにより、障害者の交流の機会の確保と、障害者自身の自己啓発に役立つよう支援していく。
4-(1)-②	65	—	—	いちょう学級の実施	障害者福祉課	知的障害者がスポーツ・学習等を通じ社会参加への適応力を高めるために、レクリエーション・自然体験などを行う「いちょう学級」を実施 内容の見直しを行いながら、更に充実させる。	年間活動回数 7回 受講者数:延255人	年間活動回数:13回 受講者数:延466人		—	新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に行いつつ、活動回数を増やし、受講者数の増加に繋がった。 受講者の年齢層が幅広く、それぞれに対応した取組の実施が課題である。	幅広い年齢層(20代から70代まで)の受講者にとって、より一層有意義な取組となるよう、実施内容を工夫して事業を進める。
4-(1)-③	65	—	—	スポーツ指導員の配置	生涯学習スポーツ振興課	障害者が気軽にスポーツに親しめるよう、(公財)日本障がい者スポーツ協会が認定する「障がい者スポーツ指導員」を区立スポーツ施設に順次配置する。	令和3年度に初級障害者スポーツ指導員を港区スポーツセンターと区立運動場併せて7名配置	令和4年度に初級障害者スポーツ指導員を港区スポーツセンターと区立運動場併せて7名配置。年度途中取得者含めると10名配置		—	昨年度より資格所有者を多く配置できた。	引き続き、各スポーツ施設に配置されるよう研修等への参加を呼びかける。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
4-(2)-①	65	—	—	障害者スポーツ の理解の推進	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツに携わる人のみならず、障害者スポーツへの理解を深めることができるよう、障害者スポーツを題材とした研修等を実施	区職員及び区民に対し、障害者スポーツ理解促進研修を実施した。 実施回数:2回 参加者:23人	区職員及び区民に対し、障害者スポーツ理解促進研修を実施した。 実施回数:2回 参加者数:17人		—	区民、区職員に対し効果的な研修を実施することができた。	指定管理者や委託事業者にも参加してもらえるよう実施方法を工夫する。
4-(2)-②	65	—	—	障害者スポーツ の普及・啓発	生涯学習 スポーツ 振興課	障害者スポーツ体験会の実施や障害者スポーツ団体の定期的な活動場所を確保するほか、SNS等を活用し、障害者スポーツに関する様々な情報の提供方法を工夫することで、障害者スポーツの普及拡大を図る。	サウンドテーブルテニス競技団体に対し、サウンドテーブルテニスの練習会場を提供した。	(一社)日本障がい者サッカー連盟と連携し、ブラインドサッカーチームの練習場所を提供するとともに、障害者サッカーの体験を行った。		—	定期的な活動場所の確保と障害者スポーツの普及に向けて競技団体と協議を進めることができた。	多くの区民に障害者スポーツを普及できるよう、競技団体との連携を深め、体制をつくっていく。
4-(3)-①	66	○	—	障害者スポーツ の観戦・体験機 会の創出	生涯学習 スポーツ 振興課	試合や大会の誘致などにより、障害者スポーツの観戦機会の充実を図るとともに、体験会の実施により、定期的に障害者スポーツに触れる機会を創出	車いすバスケットボールやサウンドテーブルテニスなどの障害者スポーツの体験会を実施した。 4回 123人	ポッチャや車いすバスケットボールの体験会を実施した。 1回:65人		—	広報媒体を例年よりも増やすことで多くの区民の参加を得た。	みなとパーク芝浦内の他のイベントと同時開催することで、さらなる集客を見込む。
4-(3)-②	66	—	—	障害者スポーツ の集いの充実	生涯学習 スポーツ 振興課	障害のある人もない人もスポーツを通じて交流する集いを実施する。障害者団体やスポーツ推進委員、障害者福祉課、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団と連携して、障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しめるよう内容を充実するとともに、催し物の周知を強化	令和3年12月12日に予定していたが中止し、代替事業「チャレンジ車いすバスケット」を実施 参加人数:24人	令和4年11月13日(日)に開催 参加者数:46人 ポッチャやサウンドテーブルテニスなどを実施		—	障害者福祉課やスポーツ推進委員と連携し、障害のある人もない人も、ともにスポーツに親しめるイベントを実施できた。	参加者の増加を図るため、周知を強化していく。
4-(3)-③	66	—	—	障害者スポーツ 環境の充実	生涯学習 スポーツ 振興課	障害のある人が安心してスポーツを楽しめるよう、障害者スポーツ用品の充実を図り、障害のある人もない人も同じ場所で一緒にスポーツを行うことができる環境を整える。 障害者スポーツの催し物等を実施することで、障害者が利用しやすい環境が整っていることを周知する。	これまで購入した競技用車いす等の用具を活用し、誰でもスポーツ開放枠として、障害者スポーツが体験できる事業を毎月実施した。	以前購入したポッチャ等の障害者スポーツ用具を活用し、障害者スポーツイベントを開催した。		—	障害者スポーツイベントを開催することで、障害者の方が利用しやすい環境が整っていることを周知した。	障害者の方によりフォーカスした周知を行うことで障害当事者の参加を増やす。
5-(1)-①	67	—	—	観光資源を活用 したスポーツ活 動の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	区内の名所を見物するまち歩きなど、観光資源を活用した催し物や港区観光大使との連携により、スポーツの振興が図られるよう取り組む。	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロゲイニング」を実施 開催回数:1回 参加者数:60人	区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う観光ロゲイニングを実施 開催回数:2回 参加者数:117人		—	区内の観光名所を巡ることで港区の魅力を知ってもらいながら、身体を動かすこともできるという効果的な事業を展開することができた。	区内にある多くの観光資源を、地域ごとに偏りなく活用できるように進めていく。
5-(1)-②	67	—	—	立地特性を生か した催し物の実 施	生涯学習 スポーツ 振興課	お台場エリアの立地特性を生かして、お台場でのマラソンのほか、水辺を活用した取組としてウインドサーフィンやビーチヨガ、トライアスロン教室等を開催	・お台場ナイトマラソンやトライアスロン教室は中止 ・区内の観光名所をチェックポイントとして巡りながら得点を集めて競う「港区観光ロゲイニング」を実施 開催回数:1回 参加者数:60人	お台場駅伝大会やトライアスロン教室、ウインドサーフィン教室等のお台場を活用した事業のほか、観光名所を巡りながら得点を集めて競うロゲイニングを実施 開催回数:7回 参加者数:357人		—	東京2020大会やコロナの影響で実施できていなかった、お台場の海を生かした事業を行うことができた。	引き続き、お台場の立地特性を生かした事業を検討していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
5-(2)-①	68	○	—	トップアスリート及びチームとの交流 [再掲]	生涯学習 スポーツ 振興課	トップアスリートやチームから直接指導を受ける機会を創出するため、区内企業等との連携により、スポーツ教室や交流事業を実施する。						
5-(2)-②	68	—	—	国際性豊かな催し物の実施	生涯学習 スポーツ 振興課	大使館等と連携し、小・中学校や町会・自治会等の地域において、スポーツを通じた国際交流や相互理解を育む催し物を実施	外国人の参加を促すため、大使館に対し、タグラグビー教室の周知をした。	外国人が学校屋内プールやスポーツ施設を利用しやすいよう、英語で表記するなど配慮して周知した。	—	外国人の利用を促すことができた。	情報提供の方法などを工夫しながら取組を進めていく。	
5-(2)-③	68	—	—	企業との連携協定	生涯学習 スポーツ 振興課	区内企業と連携協定を締結することで、トップレベルのアスリートやプロスポーツチームなどのスポーツ資源を生かした、スポーツ振興事業を推進	サントリー(株)との連携によるサンゴリアスラグビー体験教室(小学生対象) 日程:9月11日(土) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	・サンゴリアスラグビー体験教室 日程:6月11日(土) 参加人数:78名 ・港区×明治安田生命パラスポーツ体験教室 日程:6月18日(土) 参加人数:33名 ・港区×明治安田生命サッカー教室 日程:1月15日(日) 参加人数:94人	—	トップアスリートやトップチームとの交流により、区民のスポーツ活動の充実に取り組めた。	引き続き、様々な競技のトップアスリートやチームと直接交流ができるような事業実施を検討していく。	
5-(2)-④	68	—	—	総合支所との連携強化	生涯学習 スポーツ 振興課	総合支所とスポーツ関連事業の情報交換を行い、スポーツ事業の連携強化に取り組む。	芝浦港南地区総合支所まちづくり課と連携し、芝浦中央公園でスケートボードの体験教室を実施した。 日にち:2月5日(土) 参加者:26人	赤坂地区総合支所や競技団体等と連携し、4月24日(日)に秩父宮みなとラグビーまつりを実施した。また、芝浦港南支所と連携し、3月4日(土)のみなとパーク芝浦フェスティバルにおいて、障害者スポーツの体験を実施した。	—	赤坂地区総合支所及び芝浦港南地区総合支所との連携を強化することができた。	地区ごとの特性やニーズを踏まえた効果的なスポーツ施策を展開していけるよう、各地区総合支所との情報交換を密に行っていく。	
5-(3)-①	69	○	—	MINATOシティーフ馬拉ソンの開催 [再掲]	生涯学習 スポーツ 振興課	大会の開催に当たり、地域振興、国際化、教育、文化など、地域共生社会の実現に向けた基盤づくりとなるよう区内企業をはじめとする様々な関係団体等と連携するほか、区民等がボランティアとして参加することで、MINATOシティーフ馬拉ソンを地域ぐるみで世界に誇れる大会へと創り上げ、また、育てていくことによって、コミュニティの活性化、港区への愛着と誇りの機会の創出につなげる。						
5-(3)-②	69	—	—	ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業の実施 [再掲]	生涯学習 スポーツ 振興課	スポーツボランティアへの参加を拡大していくために、各競技やボランティアに関する知識を学ぶことができる講座を実施し、ボランティアリーダーとなれる人材の育成に取り組む。関係団体と連携し、スポーツボランティアが活躍できる機会の充実を図る。						

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
5-(3)-③	69	—	—	東京2020大会の 気運醸成事業の 推進とレガシー の創出	生涯学習 スポーツ 振興課	東京2020 大会を契機として、「する」「みる」「支える」スポーツ活動への気運が更に高まり、大会終了後も継続されるよう、区民や民間企業等と連携して取り組む。	・東京2020大会に向け、企業連携による気運醸成事業を実施した。 ・スポーツボランティア活動を継続させるため、民間企業等との連携により活動の場を確保した。	東京2020大会により高まったスポーツ活動への気運を継続するため、区内で行われるスポーツ大会等の運営に要する経費の一部を補助する事業を令和4年度より開始した。 スポーツを支える活動の定着を図るため、令和4年度よりスポーツボランティア育成事業を登録制で実施したほか、民間企業等との連携により活動の場を確保した。	/	—	今後も区民のスポーツ活動への気運を継続していきけるよう、民間企業や競技団体等とも連携しながら事業を進めていく必要がある。	補助金事業やスポーツボランティア育成事業を継続するほか、今後開催される世界規模の大会の気運醸成にも取り組んでいく。
5-(3)-④	70	—	—	東京2020大会等 を通じたネット ワークの拡大を 活用したスポ ーツの推進	生涯学習 スポーツ 振興課	ラグビーワールドカップ2019 や東京2020大会を契機として構築した競技団体や企業とのネットワークを生かし、区民や団体との協働により、「する」「みる」「支える」スポーツ活動の推進を図る。	・イギリスオリンピック委員会や英国大使館協力により、東京2020大会開催時のイギリスとの関係を記録したデジタルブックを作成した。 ・サントリーとの連携により、サンゴリアスによるラグビー体験教室を予定していたが、中止となった。	サントリー(株)との連携により、サンゴリアスを講師としたラグビー教室を6月11日(土)に実施 参加者数:78人	/	—	東京2020大会等を通じて築いた関係により、連携して取組を進めることができた。	引き続き、競技団体や企業との関係を継続し、区民のスポーツ活動が広がるような取組を進める。
5-(3)-⑤	70	—	—	ラグビーを生か したスポーツ振 興	生涯学習 スポーツ 振興課	区と(公財)日本ラグビーフットボール協会との協定に基づく連携により、ラグビーの観戦機会の提供やタグラグビー教室等を通じ、ラグビーワールドカップ2019を契機として高まった「する」「みる」「支える」スポーツ活動への気運が継続されるよう取り組む。	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのタグラグビー教室や、高校生以上を対象とした初心者向けのタグラグビー教室等を実施した。 実施回数:131回 参加者数:5,892人	幼稚園や保育園を対象とした子ども向けのタグラグビー教室や、初心者タグラグビー教室等を実施した。 実施回数:131回 参加者数:5,892人	/	—	小学生及びその保護者向けのタグラグビー教室については、Kissポート財団へ移行しているが、継続して取組を進めることができた。	ラグビーワールドカップ2023に向けて、パブリックビューイングや各地区での気運醸成教室等を行うなど、ラグビーを生かしたスポーツ活動の取組推進を図っていく。
6-(1)-①	71	—	—	健康づくり自主 グループの育成 及び支援	健康推進 課	健康増進センター(ヘルシーナ)で実施する健康教室等の参加者を主体に結成された、健康づくり自主グループの活動を支援するとともに、情報提供やポスター・チラシを施設に掲示するなどの支援をする。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	貸室の優先提供、自主グループの活動内容紹介のポスター・チラシを施設内に掲示した。	/	—	館内の感染対策を徹底するなど、活動を停滞させることなく、活動を支援できた。	今年度は感染対策に伴う行動制限がさらに緩和するので、一層活動の促進を支援していきたい。
6-(1)-②	71	—	—	健康づくりサ ポーターの育成 及び支援	健康推進 課	健康づくりに取り組んでいる個人や企業・飲食店などの団体を「健康づくりサポーター」として登録し、それぞれの活動を通じて、地域の区民が身近な場所で自主的に健康づくりを継続してできるよう支援 区ホームページで、登録している健康づくりサポーターを紹介し、活動内容などの情報提供を行う。	健康づくりサポーターの活動を広報で周知し、区ホームページで新規団体や活用実績等の紹介を随時更新した。 活動実績:年間14回 延参加者数:306人	・健康づくりサポーターの活動を広報で周知。そのほか、各団体がチラシを作成し、活動に関係各所に周知した。 ・区ホームページでも新規団体や活動実績等の紹介を随時更新しました。 活動実績:21回 延参加者数:934人	/	—	令和4年度は、4団体が新規登録を行った。昨年度より活動実績や参加者数が増加し、サポーター活動が活性化している。	・昨年度は新規登録を希望する団体が多く、今後も増加すると考える。 ・既存の団体、新規登録団体について、区ホームページでのサポーター紹介や活動紹介をしていきたい。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
6-(1)-③	71	—	—	ウォーキング マップの利用及 び活用促進	健康推進 課	区内8コースの距離や所要時 間、消費カロリーなどをまとめた 「すこやかマップウォーキング」 を利用して身近で無理のない 「ウォーキング」により、運動習 慣の定着を図る。	区有施設をはじめ、希 望者にマップを配布し て活用を促した。また 引き続き多くの方が活 用できるよう増版を 行った。	区有施設をはじめ、希 望者にマップを配布し て活用を促した。新たに サイクリングコースを追 加したマップの作成を 開始した。		—	令和4年度も、 マップを求めてくる 人が多く、紙媒体で のマップの需要は 高い。	今後はサイクリングルート を取り入れたマップを区有施設 等に配置し、多くの区民に運 動習慣の定着を促したい。
6-(1)-④	71	—	—	健康サポート教 室(65歳未満) の開催	健康推進 課	65歳未満の区民を対象に、健康 への関心を高め、日常生活の中 で、健康増進、疾病の予防、生活 習慣病の予防・悪化防止の正しい 知識の普及・啓発を図る。	体の状態が把握でき る姿勢測定や、自宅で できる運動を紹介する 生活習慣病予防講座を 実施した。実施回数:3 回参加人数:48人	体の状態が把握でき る姿勢測定や、実践的 な運動講座を実施した。 実施回数:2回 参加人 数:61人		—	姿勢測定を行うこ とで、健康への関心 を高めるきっかけ となり、実践的な運 動も実施できた。	引き続き、健康への関心を 高めるきっかけづくりの提供 を行いながら、生活習慣病の 予防等を図る。
6-(1)-⑤	72	—	—	「港区子ども健 康読本」の発行	健康推進 課	子どもの生活習慣病や感染症等 についての正しい知識、喫煙、飲 酒、麻薬、覚醒剤などの影響等を 盛り込んだ「港区子ども健康読 本」を作製し、区立小学校を通 じ、小学校6年生に配布し、学童 期からの健康全般に関する知識の 普及を図る。	令和3年度版から ホームページで閲覧で きるようにした。保健主 任会及び、各学校校長 にメールで活用依頼・ 周知した。令和3年4月 から12月までのホーム ページ閲覧数は、 1,139でした。	令和4年度からが小学 生1人1台利用している タブレットでも子ども健 康読本が見ることがで きるよう対応した。高学 年に対しては、ホーム ページ周知のためのチ ラシの配布を行った。		—	学校と保健所で幼 児や児童の情報交 換を行い、児童に 伝える健康全般の 知識の普及につい て検討を継続して いくことが必要。	年に1回港区地域保健と学 校保健連絡会を開催し、学校 と保健所での子供の様子に ついての情報を共有するほ か、必要な健康情報を子ども たちに伝えるために子ども健 康読本の内容の見直しを行 う。
6-(1)-⑥	72	—	○	子どもの健康な 身体づくりに向 けた食育の推進	学務課	「みなと食育ブック ヘルシー ジュニア育成プログラム(家庭 編)」を活用し、子どもが生涯に わたり健康と体力を維持できる能 力を獲得するための食育を推進	冊子の配布:全1、2年 生 配布数:3,620冊	ホームページを活用 し、広く周知をしてい る。		—	ホームページの掲 載内容の周知を継 続する必要がある。	引き続き、家庭での食育の 取組を支援していく。
6-(1)-⑦	72	—	—	「親子ふれあい ひろば」での催 し物の開催	子ども家 庭支援セ ンター	子ども及び家庭に関する相談に 応じ、必要な支援の実施や情報提 供を行う。「親子ふれあいひろ ば」で親子が楽しめるプログラ ムを取り入れ、親子の心身の健康増 進を図る。	スタッフや子育て・ま ちづくり支援プロ デューサーが中心とな り、親子参加型のプロ グラムを毎日実施した。	スタッフや子育て・ま ちづくり支援プロデュー サーが中心となり、親子 参加型のプログラムを 毎日実施した。		—	事業者も2年目の 委託ということで、 様々なプログラム を実施して親子の 心身の健康増進を 図ることができた。	隣接する地域交流室(カ フェ)の土日営業に伴い、利 用者の増加を見越した親子が 楽しめるプログラムを実施す る。
6-(2)-①	73	—	—	介護予防を担う 人材の養成	高齢者支 援課	介護予防に興味を持ち、地域の リーダーとなって介護予防活動を 主体的・積極的に取り組んでいく 介護予防リーダーを養成する。介 護予防リーダーが、介護予防総合 センター(ラクっちゃ)やいきい きプラザ、高齢者相談センターな どと連携して、介護予防活動を積 極的に展開する。 また、介護予防体操(みんなとい きいき体操)の普及や介護予防事 業のサポートをする介護予防サ ポーターを養成する。	介護予防リーダー養 成講座を実施:7名養 成 介護予防サポーター養 成講座を実施:①介護 予防総合センター8名 養成②ありすいきい きプラザ5名養成 フォローアップ研修の 実施:2回	介護予防リーダー養成 講座を実施:11名養成 介護予防サポーター養 成講座を実施:①介護 予防総合センター4名 養成②神明いきいき プラザ2名養成 フォローアップ研修の実 施:2回		—	令和3年度に比 べ介護予防リー ダー養成講座終 了者数が増加した。 介護予防総合セ ンターで実施して いるため、赤坂や高輪 地区からの参加者 が少ない。	引き続き、介護予防リー ダー養成講座はおよびフォ ローアップ研修は事前の説明 会を実施する。また、介護予 防サポーター養成講座は引き 続き介護予防総合センター だけでなく他地区のいきいき プラザで実施するなど参加者 が参加しやすい環境を整えてい く。
6-(2)-②	73	—	—	介護予防体操 (みんなといき いき体操)の普及	高齢者支 援課	介護予防総合センター(ラクっ ちゃ)やいきいきプラザなどで介 護予防体操を実施するとともに、 区民へのDVDの貸出もあわせて 行う。また、動画の配信にも取 組む。	いきいきプラザ等で、 動画を放映し普及を 行った。	動画のリニューアルを 行い、ホームページで公 開した。		—	計画通りホーム ページにリニューア ルした動画の公開 をすることができ た。	リニューアルした動画につ いてラクっちゃホームペー ジや保健福祉支援部Twitter 等で周知していく。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
6-(2)-③	73	—	—	介護予防事業の 充実	高齢者支 援課	運動機能、生活機能、栄養状態 の維持・向上を図るため、介護予 防総合センター（ラクっチャ）を 中核機関として、いきいきプラ ザ、スポーツセンター、高齢者相 談センターなどとのさらなる連携 強化を推進し、魅力ある効果的な 事業や教室を実施するとともに、 介護予防事業の拡充に取り組む。 また、ICTを活用した新たな事 業など、個々の生活に合わせて多 くの人が介護予防に取り組めるよ う、多様な介護予防プログラムを 実施する。	介護予防総合セン ターやいきいきプラザ 等で介護予防事業を实 施した。 また、介護予防総合セ ンターでは、「自宅で できるオンラインエクサ サイズ」を開発した。	介護予防総合センター やいきいきプラザ等 で介護予防事業を实 施した。 また、介護予防総合セ ンターでは、継続して 「自宅でできるオンラ インエクササイズ」を 実施している他、新た に初めてスマホ教室や オンラインによる個別 相談等を実施した。		—	・「自宅でできる オンラインエクサ サイズ」以外にも、 様々なオンライン 事業を展開する ことができた。 ・オンライン関係の 事業は参加率が 低いため、引き 続き周知を行う。	スマホ等ICTに抵抗感 がある高齢者が積極 的に参加しやすいよ う、引き続きZoom 体験会&使い方講座 を開催し、抵抗感 をなく知ってもらう。 そのうえで、ICT を活用した教室、 講座等の周知を 施設来館者も含め 図っていく。
6-(2)-④	73	—	—	認知症予防事業 の実施	高齢者支 援課	認知症予防に効果があると言 われているウォーキング等の有 酸素運動を中心とした事業を行 う。事業に参加して集団で行 う運動だけではなく、個人が 気軽に有酸素運動の習慣をつ けることにより、認知症の 予防やフレイル対策を行う ことができる。	認知症予防に効果 的なプログラムとして、 有酸素運動と芸術鑑賞の プログラムを実施。延 べ参加者数117人	1コース6回を2 コース実施した。自 宅でも取り組める ストレッチや脳ト レを実施 延べ参加者数368 人		—	脳の健康度テスト と認知症予防事業 を一つのコースと して実施したため、 介護認定の有無を 問わず実施したた め、参加者によっ ては内容がそぐわ なかった。	脳の健康度テスト と分けて実施し、 介護認定を受けて ない60歳以上の区 民を対象に実施 参加者が実践可 能な内容を提供す るようにする。ま た前期、後期の2 回実施とし、継続 的に参加できるよう にする。
6-(2)-⑤	73	—	—	訪問型介護予防 事業の実施	高齢者支 援課	通所型介護予防サー ビスを利用できない 人や家族を対象に、 看護師などが訪問 して、介護予防の ための運動指導や 保健指導などを行 い、要介護状態に なることを防止す るとともに状態の 改善を図る。	高齢者相談セン ターにおいて、介 護予防のための 相談や訪問対応 を日常的に実施 した。	高齢者相談セン ターにおいて、 介護予防の相談 や訪問を日常的 に実施	—	高齢者相談セン ターでは、介護 予防の相談や訪 問を日常業務と して実施しており 、実績の把握が 難しい。	高齢者相談セン ターにおいて、 介護予防の相談 や訪問を日常的 に実施しており、 訪問型介護予防 事業のあり方に ついて、引き続き 関係係間で調整 し、検討を進め る。	
6-(3)-①	74	○	○	スポーツと健康 づくりをともに 支える環境の充 実	生涯学習 スポーツ 振興課/健 康推進課	区民が日常生活にお いて、スポーツを通 じた健康の維持、 増進に気軽に取 り組めるよう、身 近な地域でスポ ーツ活動に親しみ 、楽しく身体を 動かせる場と、 生活習慣病やフ レイル等の予防 に向けた健康 づくりを行う場 が連携すること で、どちらの活 動も相互にでき る環境づくりを 図る。	赤坂地区にお けるスポーツ施 設の需要に 対応するため、 北青山三丁目 地区にスポーツ 施設を整備す ることを決定 した。	北青山三丁目 地区へのスポ ーツ施設整備 に向けて、協 議を進めてい る。	—	新たなスポーツ 施設の整備にあ たり、赤坂地区 にある健康増 進センターや スポーカル青 山、青山いき いきプラザ等 との連携を進 めていくことが 必要	スポーツ活動が 相互にできる 環境をつくる ため、まずは、 健康増進セン ターやスポー カル青山との 協議を進め る。	
6-(3)-②	74	—	—	ヘルシーナにお ける健康増進 の取組の実施	健康推進 課	健康増進センター （ヘルシーナ） 内のトレーニング ルームや体育館 で自主的に健康 づくりを取り 組むことができる 事業を実施す る。また、ヘル シーナで健康増 進・健康づくり のために、検査 、体力測定など の健康度測定や 医師によるカ ウンセリング、 栄養指導、運 動指導を行うメ ディカルチェ ック事業を実施 する。生活習慣 病予防・改善の ための事業や 健康づくり教 室など、区民の 多様なニーズ に応えるプロ グラムを拡充 する。	健康度測定は土 曜日実施した。 健康増進の普及 啓発や出前指導 では、SDGs ウィークに参 加するなど可 能な範囲で実 施した。教室事 業や自主グル ープ支援は新 型コロナウイ ルス感染症対 策を徹底しな がら実施した。	土曜日に行っ ていた健康度 測定を水曜日 も実施した。 3年ぶりに赤 坂コミュニティ まつりにも出 展し、ヘルシ ーナの活動の 周知に努めた。 昨年度に引き 続き、感染症 対策に気を付 けながら、教 室事業にも様 々なメニュー を取り入れ、 参加者から好 評いただいた。	—	—	健康度測定の実 施拡大に伴い、 4年度から広 報なども周知 をはじめた。 その甲斐もあ り、多くの反 響をいただき 、新規の申 込につなげ ることができ た。	健康度測定は 健康増進セン ターの要の事 業であるため 、引き続き事 業の周知をす るとともに、 申込の拡大に 柔軟に対応す るよう回数 を増やす検 討をするなど の取組が必 要になる。

その他の事業

No. (基本目標- 施策-事業)	掲載 ページ	重点	新規	事業名	担当課	計画に記載している 事業・取組の内容	実績			実績が計画と 異なる理由	令和4年度の評価 と事業の課題	今後の取組
							令和3年度	令和4年度	令和5年度			
6-(3)-③	74	—	—	スポーツセンターと区有施設との連携事業の推進	高齢者支援課/健康推進課/生涯学習スポーツ振興課	区民の健康保持・増進の視点で、健康増進センター（ヘルシーナ）や介護予防総合センター（ラクっちゃ）と連携し、水中トレーニング教室などの事業を実施	高齢者支援課の委託事業として水中トレーニングの教室をスポーツセンターや赤坂小学校等で、13期開催 延参加者数295人	高齢者支援課の委託事業として水中トレーニングの教室をスポーツセンターや赤坂小学校等で、13期開催 延参加者数111人		—	令和4年度から「水中トレーニング講座」に加えて「水中健康トレーニング」を新たに開講した。人気が集まっている。定員の約3倍の申込があり、参加者は常に抽選になっている。	「水中トレーニング講座」から「水中健康トレーニング」に1クール変更して実施することで、参加枠を増やす。また、水中トレーニング講座を1期当たり12回から16回へ変更し、入水回数を増やすことで、参加者の効果を上げる。
7-(1)-①	76	○	○	先端技術の活用に向けた民間企業等との連携	生涯学習スポーツ振興課	民間企業や大学等と連携し、区で実践可能な取組の検討と先進事例の情報を収集し、ICT等による先端技術を活用したスポーツの楽しみ方の創出に取り組む。	民間企業協創制度を活用し、連携企業を募集した。提案のあった企業と連携し、先端技術による新しいスポーツを体験するイベントを実施した。	民間企業協創制度の提案事業者と連携し、先端技術による新しいスポーツを体験するイベントを実施した。 また、大学と連携し、麻布地区のいきいきプラザにおいて、高齢者を対象としたeスポーツ体験会を試行的に実施した。		—	区だけでは、取り組むことが難しい分野であるが、民間企業や大学との連携により、新しいスポーツを体験できる機会を創出することができた。	様々な技術を活用した新しいスポーツをより多くの区民が体験できるように、民間企業や大学との連携を進めていく。
7-(2)-①	77	—	—	SNS等を活用した情報の提供	生涯学習スポーツ振興課	SNS等を活用し、スポーツ教室等の開催情報や区立スポーツ施設の混雑情報等の提供に取り組む。	当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページにて公開。人気のあるプールとトレーニングパークについてはリアルタイムでの混雑状況を発信した。	当日含む3日間の館内各競技場・武道場スケジュールをホームページにて公開。人気のあるプールとトレーニングパークについてはリアルタイムでの混雑状況を発信した。		—	混雑状況を1時間ごとに更新するとともに、待ち状況の目安もホームページに掲載した。	ホームページをはじめSNSを活用し、混雑情報等を発信する。また、ホームページで混雑情報を発信していることの周知を行う。
7-(2)-②	77	—	—	区ホームページの充実	生涯学習スポーツ振興課	区ホームページを活用し、広く区民にスポーツやレクリエーション、スポーツ団体の情報を提供できるように取り組む。	区が主催する事業の情報について、ホームページによる周知を積極的に行った。	区が主催する事業の開催情報や利用休止情報について、ホームページによる周知を積極的に行った。		—	適宜ホームページを更新することで、情報をわかりやすく提供することができた。	広く区民に情報を提供できるようTwitter等と連携した情報発信に取り組む。
7-(2)-③	77	—	—	施設の周知、利用案内等の情報提供	生涯学習スポーツ振興課	スポーツセンターや運動場などの利用方法をまとめた「スポーツガイドマップ」や利用可能な学校屋内プールを一覧にした「学校屋内プール利用案内」により、施設の周知及び利用方法をお知らせしている。今後は、内容を更に充実し、広く区民に施設利用を促すための情報提供に取り組む。	スポーツガイドマップにQRコードを掲載し、施設のページへすぐアクセスできるよう改定した。	新規開放した施設について、広報みなど、ホームページ、Twitter等により広く周知した。		—	丁寧に周知したことで、混乱なく利用していただくことができた。	新規開放施設や時間変更などをスポーツガイドマップに反映させていく。